

宮崎県

県職員獣医師

というシゴト

活躍フィールド



MUGENDAI





MIYAZAKI 宮崎県の概要

宮崎県は南九州に位置し、年間を通して温暖な気候に恵まれた自然豊かな地域です。

また、宮崎県のブロイラー飼養羽数は28,236千羽で**全国1位**、豚飼養頭数は835,700頭で**全国2位**、肉用牛飼養頭数は250,300頭で**全国3位**です（平成31年2月1日現在）。国内有数の畜産基地として、「**宮崎牛**」や「**宮崎ブランドポーク**」「**みやざき地頭鶏**」など、豊かな自然の中で丹精込めて育てられる「みやざきブランド」の畜産物が全国の食卓へ誇りを持って届けられています。

県内には、これらの畜産物を処理していると畜場が7か所、大規模食鳥処理場が9か所あり、全ての工場がHACCPに対応しています。さらに、海外15か国への輸出認証等を取得し、米国や香港をはじめ輸出を盛んに行っています。



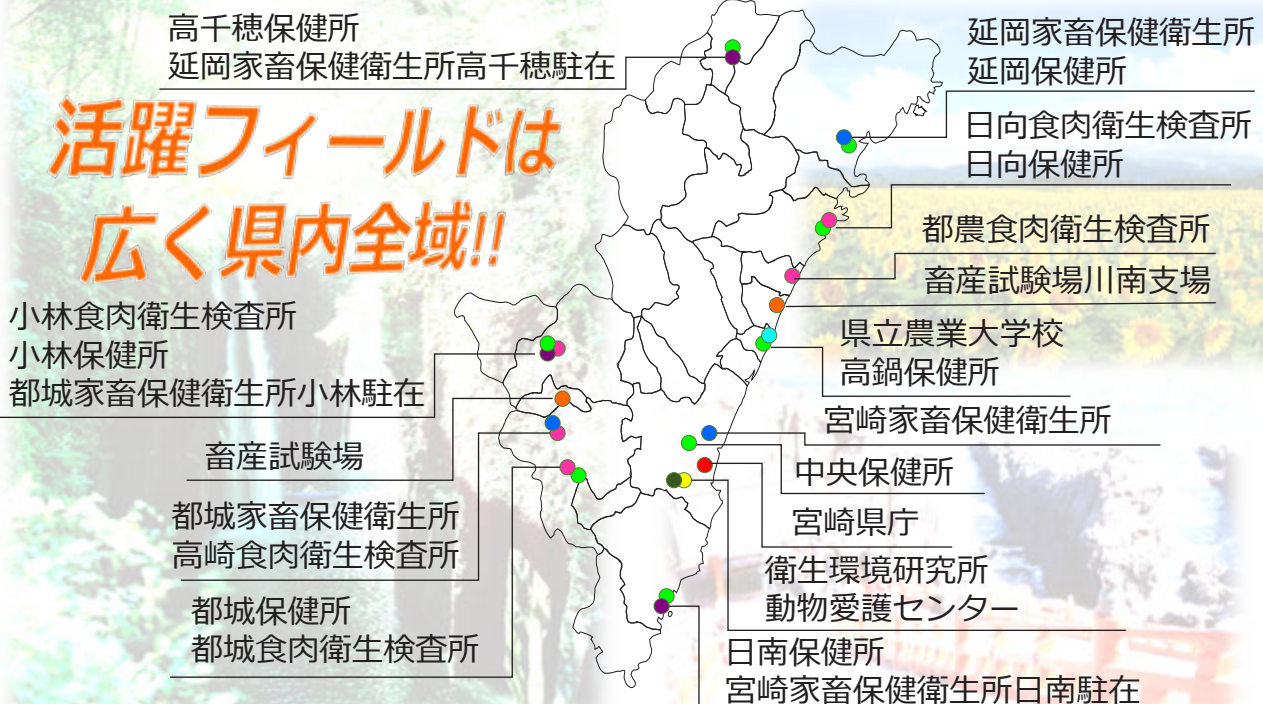
日本一の宮崎牛

5年に一度開催され、「和牛のオリンピック」ともいわれる全国和牛能力共進会で、史上初めて3大会連続内閣総理大臣賞（最高賞）受賞を達成した「**宮崎牛**」は、最高級のブランド黒毛和牛として、国内はもちろん、アカデミー賞のアフターパーティにおいて、特定産地の和牛として3年連続でメニューに採用されるなど、海外においてもその名が知れ渡っています。



OFFICE 獣医職の職場

活躍フィールドは
広く県内全域!!





MISSION 獣医職の業務

農政分野の獣医師

➤ 本庁（家畜防疫対策課）

宮崎県は、全国的に珍しい家畜衛生を専門的に担う「家畜防疫対策課」が設置されています。本庁では予算確保や施策の立案などを行いながら、家畜保健衛生所の業務を総括して、また、家畜人工授精や獣医事、薬事に関する業務、獣医師確保対策、防疫施策に加え、農場巡回指導や家畜伝染病に関わる業務や情報発信なども行っています。

➤ 家畜保健衛生所

畜産農家への家畜の衛生対策や、家畜伝染病の予防対策・まん延防止などを実施しています。県内には3か所、家畜保健衛生所があり、それぞれに1か所ずつ駐在が配置されています。各家畜保健衛生所では、生産安全課・防疫課・病性鑑定課に分かれて業務を行っています。



研修会の開催



検査のための採血



農場の立入検査



鳥インフルエンザ検査

生産安全課

家畜改良増殖法に基づく種畜検査、家畜人工授精及び受精卵移植技術の普及・啓発、薬事や獣医事に関する指導、飼料の安全性確保、畜産環境保全のための業務を行っています。

防疫課

家畜伝染病予防法に基づき、口蹄疫や高病原性鳥インフルエンザ、その他の家畜伝染病の発生予防のため、県内の畜産農家に対する検査、調査、指導等の業務を行っています。

病性鑑定課

宮崎家畜保健衛生所のみを設置され、ウィルス・細菌・病理・生化学及びBSEの検査部門があり、県内全域の家畜の病性鑑定と診断を行っています。また、高病原性鳥インフルエンザや炭疽菌などの危険度の高い病原体を取り扱うことができるBSL3に対応した検査室を完備しています。

➤ 畜産試験場

畜産試験場は本場（高原町）と支場（川南町）に分かれており、本場では「肉用牛部」「酪農飼料部」「家畜バイテック部」、川南支場では「養豚科」「養鶏科」「環境衛生科」において肉質改善、品種改良等の研究、新たな技術開発に取り組んでいます。

家畜バイテック部

スマート畜産実現に向けたICT活用技術開発や受精卵供給事業

養豚科

新品種豚導入試験や未利用資源を活用した肥育試験



牛の採卵作業



中ヨークシャー種子豚の体重測定

➤ 県立農業大学校

県立農業大学校では、幅広い国際的視野と高度な生産技術及び経営能力を身につけた農業者並びに地域農業のリーダーとなりうる優秀な人材の育成を行っています。

獣医職が配属される畜産学科では、自然あふれる広大な実習農場における畜産経営の実践や、家畜人工授精の講義、学生一人ひとりの研究テーマに沿った指導を行います。



削蹄実習



学生の研究指導

公衆衛生分野の獣医師

➤ 本庁（衛生管理課）

本庁では、食肉・食鳥肉検査、食品衛生、動物愛護、生活衛生、水道衛生などの業務の予算や施策の企画・立案、職員のスキルアップ研修の実施に取り組んでいます。

➤ 食肉衛生検査所

食肉衛生検査所では、「と畜場法」及び「食鳥検査法」並びに「食品衛生法」に基づき、牛・豚・鶏などの検査を実施しています。

安全で安心して食べられる食肉を提供するため、疾病に侵された肉の排除はもちろんのこと、O157や残留抗生物質検査等を行っています。

検査は肉眼検査を中心に行いますが、判断が難しい場合は微生物学的、理化学的、病理学的な精密検査を行って、総合的に判断します。

また、輸出認定と畜場では、輸出相手国政府による査察が、食肉衛生検査所に対して行われ、検査員である獣医師には、高いレベルの検査技術の習得が求められています。このため、海外研修や宮崎大学と連携した研修会を実施するなど、人材育成に力を入れています。

➤ 動物愛護センター

みやざき動物愛護センターは、県全体の動物愛護推進の中核施設として、犬猫の適切な飼い方の指導や飼えなくなった犬猫の譲渡会開催等さまざまな取組を行っています。

小学生等を対象に教育委員会と連携して実施する「いのちの教育」をはじめ、負傷した動物の治療、地域猫対策のための不妊去勢手術を行うなど『人と動物が真に共生する地域社会』の実現に向け、積極的な事業を展開しています。

➤ 保健所

保健所の業務は多岐にわたっており、所属する獣医師には常に幅広い知識が求められています。

「食品の監視業務」では、近年ますます高度化する食品加工技術を踏まえ、安全な食品が製造されるよう事業者には指導したり、毎年発生する食中毒事故を未然に防ぐため、スーパーや食品加工場等に対して衛生指導や検査を行っています。そのほか、感染症対策・医薬品などの安全対策、犬の登録や予防注射の周知徹底など狂犬病予防に係る業務を行っています。

➤ 衛生環境研究所

食中毒・感染症等の原因究明のための検査や食品等の安全性検査（細菌、残留農薬・抗菌性物質等）を行っています。また、こうした業務に関連する調査研究も行っています。さらに、県内検査機関の分析技術の向上を支援する試験研究機関として、技術指導・研修及び精度管理を行っています。



狂犬病などの人獣共通感染症診断研修



枝肉の検査

外国政府による査察



海外研修の風景



“いのちの教育”の授業



地域猫の不妊去勢手術



スーパーの監視



食品工場の監視



食中毒疑い時等の検査



残留物質の検査

先輩の一日 (家畜保健衛生所)

- 8:00 登庁、出張準備
- 9:00 農場へ出張
(採血、巡回指導など)
- 11:30 帰庁
車両・器具消毒
- 13:00 解剖
- 15:00 室内検査
(細菌検査、糞便検査)
- 17:00 事務処理
- 17:15 退庁
- 19:00 趣味の演劇練習
- 22:30 帰宅

主な業務は、家畜飼養衛生管理指導を目的とした農場巡回や家畜伝染病の検査及び検査に伴う採材です。また、農場で死亡、又は病気になる家畜の解剖をすることで、農場内に潜む問題点や病気の原因を究明しています。



都城家畜保健衛生所
主任技師 坂口 浩平

近年は国際化により家畜防疫を取り巻く現状は非常に厳しくなっています。私たちの仕事は様々な伝染病の侵入・発生を防ぎ、万が一発生した際は迅速に対応し被害を最小限に留め、生産者の生活を守る重要なものであり、とてもやりがいのある仕事だと感じています。

とはいえ息抜きも大切です。オフの時はしっかり楽しみ、

オンの時はきっちり働いて、充実した日々を送りましょう！



先輩の一日 (保健所)

- 8:10 登庁
- 10:00 理容美容業
衛生講習会
- 12:00 昼食
- 13:00 大型犬飼養
状況調査
- 15:00 帰庁
- 15:30 犬ワクチン接種
- 16:00 事務処理等
- 17:15 退庁

主な業務は動物と生活衛生です。動物関係では保護した犬猫の管理や県民の相談対応、生活衛生では旅館や美容室などの生活に関わる業種の許可・指導などがあります。



動物業務では対応が難しい場面もありますが、保護した犬猫の新しい飼い主が見つかったりするとやりがいを感じます。生活衛生業務は動物以外の分野で慣れないことばかりですが、衛生面から人の健康を守る意味で重要な仕事だと思います。保健所は獣医師が働く職場の中

で最も県民の方に身近な所属なので、様々な業種や考え方の人たちと接することで広い視野を持つようになると思います。



日南保健所
主任技師 奥平 沙紀

畜産分野・衛生分野を 経験してみて

県職員獣医師の仕事は、畜産分野・公衆衛生分野など多岐にわたり、総合的な知識が必要となります。そのため、宮崎県では畜産分野（農政水産部）・公衆衛生分野（福祉保健部）間で人事交流を行っています。



高鍋保健所
主査 弓削 くみ子

Q：入庁時の配属は？

福祉保健部に配属され、国内でも数少ない対米輸出認定施設の検査を行う高崎食肉衛生検査所において、3年間と畜検査や食鳥検査を担当しました。国内外へ安全安心な食肉を供給するため、大学で学んだ専門的な知識をより深めることのできる良い経験となりました。

Q：現在の配属は？

入庁14年経ちましたが、その間、農政水産部に属する家畜保健衛生所など5か所の職場を経験し、現在は2度目の保健所勤務となりました。食品衛生・動物愛護・生活衛生等、県民の皆様へ密着した幅広い業務に携わることができるので、皆さんから期待される分、すごくやりがいを感じています。

Q：後輩へのメッセージ

私は、農政水産部と福祉保健部の両方で様々な経験や交流をさせていただけたことが自分の宝であると考えています。こうした経験により、生産者をはじめ、食品加工業者や消費者の方々からの相談に対して対応できるようになり、自分自身も成長できたと考えています。宮崎県で、いろいろな分野の獣医師と一緒に楽しく働いてみませんか。

仕事と家庭の両立を バックアップします！

宮崎県では、職員一人ひとりが充実した生活を送るために、ワークライフバランスの充実に応援しています。



家畜防疫対策課
主任技師 兼田 稔也

Q：公私とも充実していますか？

仕事では、本庁で家保の業務の取りまとめや予算確保、国や他県との調整をしています。家畜に触れることはないですが、社会の仕組みを知ることができ、また県内外の関係機関と情報交換ができてとても勉強になります。

家では、共働き核家族で妻と共に2歳と0歳の育児に奮闘中です。充実と言うよりとにかく日常が目まぐるしいですが、ふと子どもの成長を感じる時は独特の幸福感があります。

子どもの急な病気等で仕事を休むこともありますが、職場の皆さんの協力で何とか乗り越えています。子どもの看病に係る特別休暇も取得できますのでフル活用しています。



Q：今後の目標は？

家保で2年間、本庁で2年間勤務しましたが、全く世界が異なります。まだ経験したことの無い仕事沢山あり、2から3年での異動が常にあります。それぞれの職場で地域的な特徴や職務内容の違いを楽しめたらと思います。



WORKING CONDITIONS 勤務・休暇など

勤務
時間は？

月曜日～金曜日
午前8時30分～午後5時15分
(休憩時間除く 週38時間45分)

休暇は？

【年次有給休暇】
入庁した年は15日/年
それ以後は20日/年

【その他の特別休暇】
夏季休暇、結婚休暇、
産前産後休暇、育児休
暇など



INTRODUCTION 職員紹介

畑 和宏 Kazuhiro Hata



神奈川県の小動物病院から転職し、宮崎県に就職。今は、本庁の家畜防疫対策課に在籍し、家畜防疫事業の企画・立案や国との調整等の業務を行っています。休日の過ごし方は、娘と2人でデート。普段は家の近くの図書館や公園に、たまには、山や海に行ったりと遊び回っています。

渡山 恵子 Keiko Toyama



私は宮崎家畜保健衛生所で家畜防疫の業務に従事しながら、宮崎大学大学院の博士課程に通っています。本県は畜産が主要産業であり、防疫面でも高いレベルを求められるため、それだけやりがいのある仕事です。若手職員の育成にも力を入れており、希望すれば様々な研修等に行かせてもらえます。自分の能力を存分に発揮できる環境で、あなたの可能性を広げてみませんか！

箕田 麗子 Reiko Mita



生まれは熊本県、酪農学園大学を経て平成29年度に入庁。初任地は小林食肉衛生検査所ですが、この2年間で現場の検査業務に加え、微生物や病理検査等による診断スキルを身につけ、生産者の方に疾病についてわかりやすく説明できるようになりました。休日は、県内をあちこち散歩しながら美味しい物を食べ歩きするのも楽しみの一つです。

有川 玄樹 Genki Arikawa



平成24年度から宮崎県に勤務しています。保健所、食肉衛生検査所で経験を積み、現在は動物愛護センターに在籍して、負傷した犬猫の治療等に対応しています。生まれは大分県、育ちは福岡県、大学は北海道（酪農学園大学）と、宮崎県とは縁もゆかりもありませんが、休日は、県内の観光地巡りをしています。



松浦 真翔 Masashi matsuura

平成22年度に入庁し、保健所等に勤務後、平成29年度から都農食肉衛生検査所の輸出指導を担当。平成30年度にデンマークの食肉施設やEUの食肉検査制度の視察研修に行きました。こうした経験を工場関係者への指導に生かすことができ、やりがいを感じています。初対面の人から顔が怖そうと言われますが、根は優しく、己に厳しい有言実行型の武闘派。休日は、4人の子供と遊んでいます。



INTERNSHIP 県職員獣医師 就業体験

宮崎県では、県職員獣医師の魅力を知ってもらうため、大学で獣医学を学ぶ学生及び本県への就職を希望する獣医師の方を対象に、就業体験（インターンシップ）を行っています。



病理検査体験実習



鶏の解剖体験実習



微生物検査実習



応募資格

- ・大学で獣医学を専攻している学生のうち、4・5・6年生
- ・獣医師免許を取得済の方のうち、本県への就職に意欲のある方



実施時期等

時 期： 原則、8月から9月まで

スケジュール： 月～金の5日間を基本とします。

ただし、獣医師免許取得済の方については相談に応じます。

実施内容： 本庁、家畜保健衛生所、畜産試験場、食肉衛生検査所、保健所、衛生環境研究所、動物愛護センターにおける見学や実習

※時期により研修先が異なります。



旅費助成について

インターンシップに要した旅費の一部を助成します。

詳細は宮崎県家畜防疫対策課（TEL：0985-26-7139）へお問い合わせいただくか、宮崎県ホームページを御覧ください。



問合せ先

宮崎県 農政水産部 畜産新生推進局 家畜防疫対策課

電話：0985-26-7139 FAX：0985-26-7329

E-mail：shinsei-kachikuboeki@pref.miyazaki.lg.jp

宮崎県 福祉保健部 衛生管理課

電話：0985-26-7076 FAX. 0985-26-7347

E-mail：eiseikanri@pref.miyazaki.lg.jp

【宮崎県庁ホームページ】

<https://www.pref.miyazaki.lg.jp/>



文字サイズ 縮小 標準 拡大 色合い 標準 青 黄 黒 音声読み上げ/ふりがな Foreign Language

🔍 インターンシップ 獣医師

> よくある質問から探す > 組織で探す > 何をお探ですか? > サイトマップ